

# 2020年12月期 第1四半期決算 及び 2020年12月期計画

## 質疑応答(要旨)

2020年8月21日 10:00-11:30

株式会社キッツ

# 質疑応答要旨①

No.	項目	Q	A
1	2020年12月期計画	バルブ事業の営業利益は、前年同期比で大幅な減益となる計画だが、「数量・構成差等」の内訳は？	新型コロナウイルス感染拡大による需要減などで、全体の販売数量が減少すると見込んでおり、市場、エリア別の詳細な内訳は開示していない。増収増益となる見通しなのは、半導体向けだけである。
2	国内建築市場	需要が落ち込んでいるとのことだが、代理店在庫の状況は？	主要代理店の在庫は、適正水準を上回る状況が継続しているが、調整が徐々に進んでいる。もう少し、調整が進めば、実需が売上につながる状態になることが期待できるのでは。
3	国内建築市場	市場の状況は？	2020年～2021年は、オリンピック開催予定であったこともあり、元々端境期という予想であった。ここ数年に比べて、大型のビル建築予定も少ない。一方で、キッツの汎用バルブは、ビルだけではなく、工場でも数多く使用されており、製造業の設備投資動向に大きく左右される。現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、設備投資は落ち込んでいる。昨年まで好調であった、化粧品産業などは、インバウンド需要がなくなり、低迷している。しばらくは停滞が続くが、2020年11月～12月には、市場が動き出すのではないかと。

## 質疑応答要旨②

No.	項目	Q	A
4	2020年12月期計画	バルブ事業の営業利益率は、第1四半期と比較すると、第2四半期、第3四半期は大きく落ち込む計画だが、なぜか。	第1四半期は受注残もあったが、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市場全体が落ち込むと見込んでいる。特に影響が大きいのは、海外市場。 エリア別では、アセアンはロックダウンに近い状況が継続しており、回復を見込むのが難しい。アセアンの汎用バルブは、海外市場の中では、比較的利益率が高く、減収のインパクトが大きい。
5	セグメント別計画	現状、バルブ事業、伸銅品事業、その他、調整額に分けているが、調整額(全社費用)を各セグメントに振り分け(配賦)て、より各事業の実態がわかるようにしてはどうか。	貴重なご意見としてお受けする。